

令和4年度 学校評価書(前期:)

校名 宇和島市立戸島小学校

1 自己評価書

| | |
|---------|--|
| 教育目標 | ふるさとを愛し、たくましく生きる児童の育成 |
| 基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ○失敗を恐れず、学習にも運動にも前向きに挑戦する児童の育成に努める。 ○地域の教育資源を活用し、保護者や地域と連携協働することで、地域とともにある学校を推進する。 |
| 本年度重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善や個に応じた指導を行うことで、誰一人取り残すことのない、個別最適な学びと協働的な学びの実現に努める。 ○外遊びや様々な交流・体験活動を充実することで、自分も友達も大切に、いじめや不登校のない学校づくりに努める。 ○気持ちのよい挨拶や返事など、当たり前前かがい前向きにできる態度を育てる。 ○「自分の命は自分で守る」を合言葉に、学校安全教育の充実を図るとともに、安心・安全で充実した教育環境の整備に努める。 ○戸島の自然や歴史、産業など、地域の教育資源や人材を活用した体験活動に取り組むことで、ふるさと教育の充実を図る。 |

| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 |
|--|---------------------------|--|---|----|----|
| 確かな学力の定着と向上 | ① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用 | 自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施 | D | C |
| | ② 授業改善 | 主体的な学びの実現に向けて授業改善に努めた。(一斉教授型の授業スタイルからの脱却) | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | B | |
| | | ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・児童生徒アンケート | B | |
| | | 一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、主体的な学びや個に応じた学びの推進に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | A | A |
| | ③ 家庭学習の充実 | 授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。(予習・復習・振り返り等) | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | B | B |
| | ④ 読書活動の充実 | 読書に対する関心意欲を高め、読書習慣の定着に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | A | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | B | |
| | ⑤ ふるさと学習及びESDの推進 | 社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | A | B |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート | B | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート | B | |
| <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人1台端末を積極的に活用し、少人数ならではの授業改善に努めることができた。 ○市標準学力調査の成果と課題をもとに、一人一人の苦手分野を確認し、個別指導に当たった。しかし、学級全体として具体的に取り組む内容を検討することができなかった。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童一人一人の学習状況の成果と課題を分析し、主体的な学びの実現に向けた授業改善を行うとともに、様々な研修資料を活用して自己研鑽を行う。 ○一人一人に学力が定着するような家庭学習や読書活動の充実をさらに進める。 | | | | | |

| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 | | |
|---------|--|--|---|--|----|---|---|
| 生徒指導の充実 | ① 規範意識の向上 | 規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | B | B | | |
| | | | ② 児童生徒の健全育成 | 児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間づくりに努め、心の通う対人交流が深まってきた。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート | B |
| | | | | 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート | B |
| | ③ 基本的な生活習慣の徹底 | 基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で取り組んだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート | B | A | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート | A | | | |
| | ④ 自己肯定感 等 | 自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿 | A | A | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒アンケート ・児童生徒の姿 | A | | | |
| | <p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感が高く、基本的な生活習慣が身に付いている。 ○6名の児童が、仲が良く、笑顔で毎日を過ごしている。また、学級担任と児童との人間関係も良好である。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめや不登校は、どこの学校にも起こりうることを心得て、高学年特有の心の変化に対応できるように児童に寄り添う。 ○学級担任と児童、児童同士の接し方について、厳しさと優しさのバランスを大切にしながら、指導していく。 | | | | | | |

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 |
|--|---|---|-----------------------------------|-------------|----|
| 働き方改革 | ① | ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。 | ・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用 | D C | D |
| | ② | 働きやすい環境づくり 業務改善に向けて自校の課題を洗い出し、慣例にとらわれることなく積極的に改善に努めた。 | ・教師アンケート | B | B |
| | | 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。 | ・教師アンケート | A | A |
| ③ | 他の教職員のサポート体制の充実 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。 | ・教師アンケート | A | A | |
| <p>(成果と課題)</p> <p>○教職員が1名となり、業務負担は大きくなっている。年度当初は、時間外勤務が長くなることもあった。削減できることは、削減するように努めたが、負担を解消することは難しかった。</p> <p>○様々な教育活動を行う際に管理職が不在の場合があり、教職員の負担となった。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○業務負担を軽減する努力を行う。出張を兼務校教職員に行ってもらうようお願いをしたり、子どもたちの教育活動の中に外部講師を招いたりする。</p> <p>○職員同士の声掛けや雰囲気づくりに努め、何でも相談しあえる状況を継続していく。</p> | | | | | |
| 評価項目 | 評価小項目 | 評価の観点 | 評価資料 | 評価 | 評価 |
| 地域との連携 | ① | 学校運営協議会の活性化 学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めるとともに、全職員の共通理解の下、学校運営協議会の活性化を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。 | ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート | B B B | B |
| | ② | 情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。 | ・教師アンケート | A | A |
| | | | ・保護者アンケート ・地域アンケート | A A | |
| ③ | 来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。 | ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート | A A B | A | |
| <p>(成果と課題)</p> <p>○4月当初に行った学校運営協議会で「子どもたちのために」学校に関心をもち、協力していこうとする流れができた。保護者や地域の学校への協力体制を構築することができている。ただし、学校からの相談や情報提供の不備等もあり連携・協働ができていない面もあるので、今後改善に努めたい。</p> <p>○学校HPは、毎日更新し、学校の様子や児童の様子等を発信することができた。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○学校運営協議会を中心に、保護者・地域への「報告・連絡・相談」を先を見通して行う。学校と保護者・地域とが連携・協働していけるような体制をさらに進める。</p> <p>○コロナ禍で、うまくいかどうか分からないが、地域の方々が、学校に来ていただけるような雰囲気づくりに努める。「運動会」「学習発表会」「参観日」など案内文書を配付するなど、周知の徹底を行う。</p> | | | | | |

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満